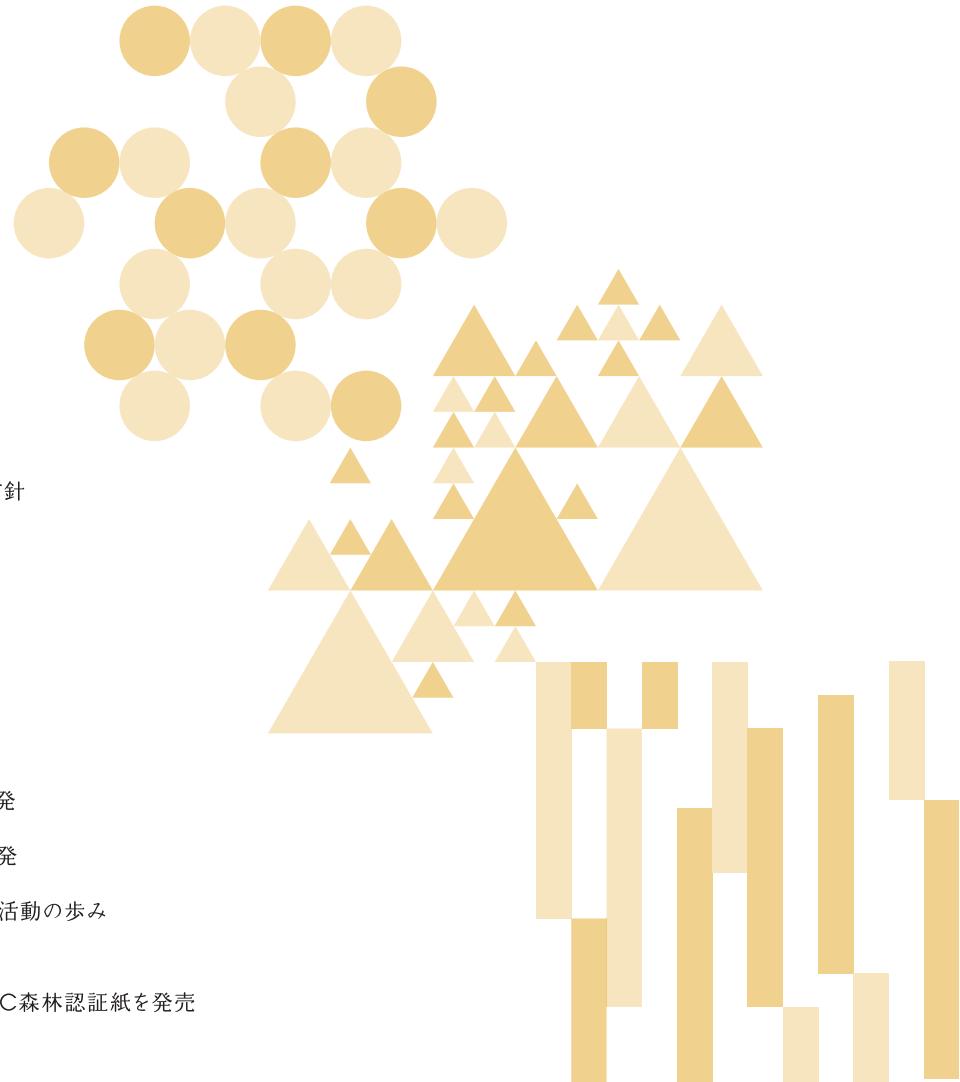




CONTENTS

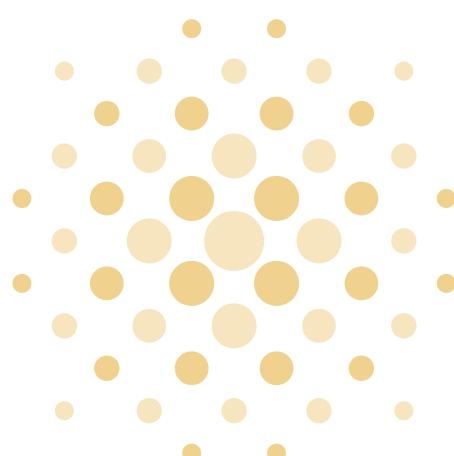
- 1 ごあいさつ
- 2 環境問題に対する基本方針-01
平和紙業株式会社の環境問題に対する基本方針
平和紙業株式会社 環境方針
- 4 環境問題に対する基本方針-02
環境目的・目標
環境保全体制
- 6 認証更新レポート-01
環境マネジメントシステムおよび森林認証制度
- 8 環境保全活動-01 エコロジーペーパーの開発
- 10 環境保全活動-02 エコロジーペーパーの開發
- 12 環境保全活動-03 エコロジーペーパー啓發活動の歩み
- 14 トピックス-01
コストメリットとテクスチャーを兼ね備えたPEFC森林認証紙を発売
- 16 トピックス-02
環境省基準によるカーボン・オフセット認証紙を発売
- 18 ヴァーカレイCoC-01・02
環境省基準によるカーボン・オフセット認証紙とは
- 22 2011年度 環境データ
エコロジーペーパーについて
グリーン購入シェアについて
紙類リサイクルについて
エネルギー使用量について
OA用紙使用量について
配送重量・距離の把握
- 24 まとめ
会社概要



ごあいさつ

私たち平和紙業は、従来から「環境と共生できる紙」を『エコロジーペーパー』と位置づけ、持続可能性を重視した様々な環境対応紙(再生紙・非木材紙・シリアルペーパー・森林認証紙・間伐材紙・グリーン電力用紙など)を開発し、その普及と販売に努めてまいりました。近年におきましても、環境省基準によるカーボン・オフセット認証紙「ヴァーカレイCoC」を企画・開発し、環境保全に貢献できる新たな紙を発売しております。私たちは、皆様の生活を支える紙の流通業を担うものとして、必要とされる紙を必要とされる方にご提供するだけではなく、より多くの方々に『エコロジーペーパー』を知っていただき、紙1枚からできる環境活動を広められるよう、情報発信と啓發活動に、今後も尽力してまいります。森林資源や電力問題など、環境への意識がますます高まる今、社員一人ひとりが自らの環境意識を向上させ、環境法規制の順守を徹底することはもちろん、紙と環境保全活動とがセットになるようなご提案を広め、社会と地球環境に貢献する企業として、環境や安全を守る責任を果たしながら、社会が求める価値の創造に向けて前進してまいります。これからも皆様からのあたたかいご理解と倍旧のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長
小島勝正





環境問題に対する基本方針 01

平和紙業株式会社の 環境問題に対する基本方針

平和紙業株式会社は、その事業活動により発生する環境負荷の削減行動を会社・社員一丸となって努力するとともに、地球環境と共生できる多様な紙『エコロジーペーパー』の開発と啓発活動を通じ、21世紀の新しい紙の文化向上に貢献する。

平和紙業株式会社 環境方針

基本理念

平和紙業株式会社は、その事業活動が環境に与える影響を認識し、「平和紙業株式会社の環境問題に対する基本方針」を踏まえ、下記行動指針に沿って会社・社員一丸となり、地道にかつ継続的に地域社会および地球規模での環境保全に積極的に取り組んでいきます。

行動指針

①省資源・省エネルギーの推進

紙・電力等エネルギー使用量および廃棄物の削減・リサイクルを推進するとともに、グリーン購入を積極的におこない、環境負荷低減ならびに環境汚染予防に努めていく。

②環境関連法規等の順守

国および関連自治体の環境関連法規等を順守していく。

③環境保全活動の継続と改善

環境目的・目標を具体的に定めて取り組みを展開し、環境マネジメントシステム監査を定期的に実施し、環境保全活動ならびに環境マネジメントシステムの継続的な向上に努めていく。

④啓発活動の推進

当社の特徴である『エコロジーペーパー』の販売を推進するとともに、販売推進活動、エコロジーイベント、環境教育および情報収集活動を通じ、一般生活者ならびに社員一人一人が環境保全活動に対する認識を深め、環境保全に対する具体的な行動をおこなっていくための啓発活動を継続的に推進していく。

⑤情報の公開

この環境方針は、ホームページへの掲載および常設ショールームでの印刷物配備をおこない、広く社会に公開していく。

つる巻きの螺旋が描くループが、上下とも同一形態であるように…。

環境問題に対する基本方針 02

環境目的・目標

社員一人ひとりが商品やサービスなどの事業活動を通じた環境活動や環境情報の受発信などの環境コミュニケーションを考え、環境側面の抽出作業に参加しています。抽出された著しい環境側面「サービス・エコ商品」「教育」「社内美化」「文具類」「環境順法」「環境データ」「火災の発生」の7項目を基に、環境目的・目標を立て具体的な行動計画を推し進めました。

環境目的

① エコロジーペーパー啓発活動の推進

営業部門：得意先エコ商品勉強会の開催 年間開催回数36回
業務部門：仕入先エコ商品勉強会の開催 年間開催回数20回
販売推進部門：展示会・セミナーの開催 年間開催回数18回

② 環境意識の向上

管理部門：環境教育の実施 社内研修年間53回 社外研修年間10回
社内美化運動の実施 年間実施回数各サイト4回
業務部門：製紙メーカーとの品質管理の基準作成 品質管理基準の作成

③ 省資源・省エネルギーの推進

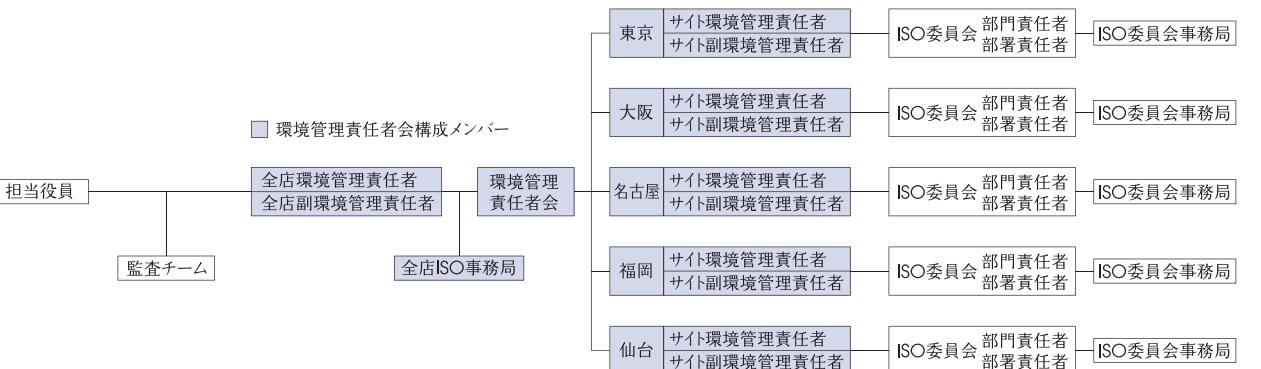
全部門：グリーン購入ルールの徹底 購入シェアの拡大 シェア80%以上 購入金額の把握
営業部門：エコロジーペーパー販売シェアの把握 基準値±3ポイント以内
業務部門：エコロジーペーパー在庫シェアの把握 基準値±5ポイント以内
配送重量・距離の把握 データの把握
管理部門：環境負荷項目の月次管理 月例にて数値報告

④ 環境法規制の順守

全部門：特定環境関連法規制等順守の確認 月次管理

環境保全体制

環境保全体制は、平和紙業環境マネジメントシステムに基づいて下記の図のように構成されています。





れる水が、曲がりくねる蛇行の形態で姿を刻むように…。

認証更新レポート 01

環境マネジメントシステムおよび森林認証制度

● ISO14001環境マネジメントシステム

ISO (International Organization for Standardization 国際標準化機構)による、ISO14001 環境マネジメントシステム (JISQ14001) を1999年9月に東京にて紙流通業界として初めて審査登録をいたしました。

ISO14001は組織(企業、各種団体など)の活動・製品およびサービスによって生じる環境への影響を持続的に改善するためのシステムを構築し、そのシステムを継続的に改善していくことが要求されています。この中で、環境負荷の低減および有益な環境影響の増大、組織の経営改善、環境経営が期待されます。

2000年10月に大阪・名古屋、2002年8月には全本支店で審査登録をし、環境負荷削減活動を実施しています。

2010年9月、10年以上にわたり環境マネジメントシステムの登録を継続し、環境負荷削減活動の維持・向上に努めたことが評価され、財団法人日本規格協会よりマネジメントシステム永年登録表彰（環境区分）を受けました。

2011年7月に第4回更新審査を受け、登録継続となりました。



● FSC®森林認証

FSC®森林認証制度(Forest Stewardship Council 森林管理協議会)による、CoC認証(Chain of Custody 生産・流通・加工までの管理連鎖認証)を2004年3月に取得しました。FSC®は森林の継続的で適切な育成管理を目的に、1993年10月にドイツ・ボンを本部に設立された非営利の会員制組織です。この組織は、適切な森林管理育成の基準を作成し、その基準に沿って、付託する審査機関が申請された森林を審査し、適正と認定した場合、その森林のパルプから製造された紙がFSC®認証として認められます。

2011年10月に更新審査を受け、認証継続となりました。



● PEFC 森林認証

PEFC 森林認証制度 (Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes) による、CoC 認証 (Chain of Custody 生産・流通・加工までの管理連鎖認証) を2007年10月に取得しました。

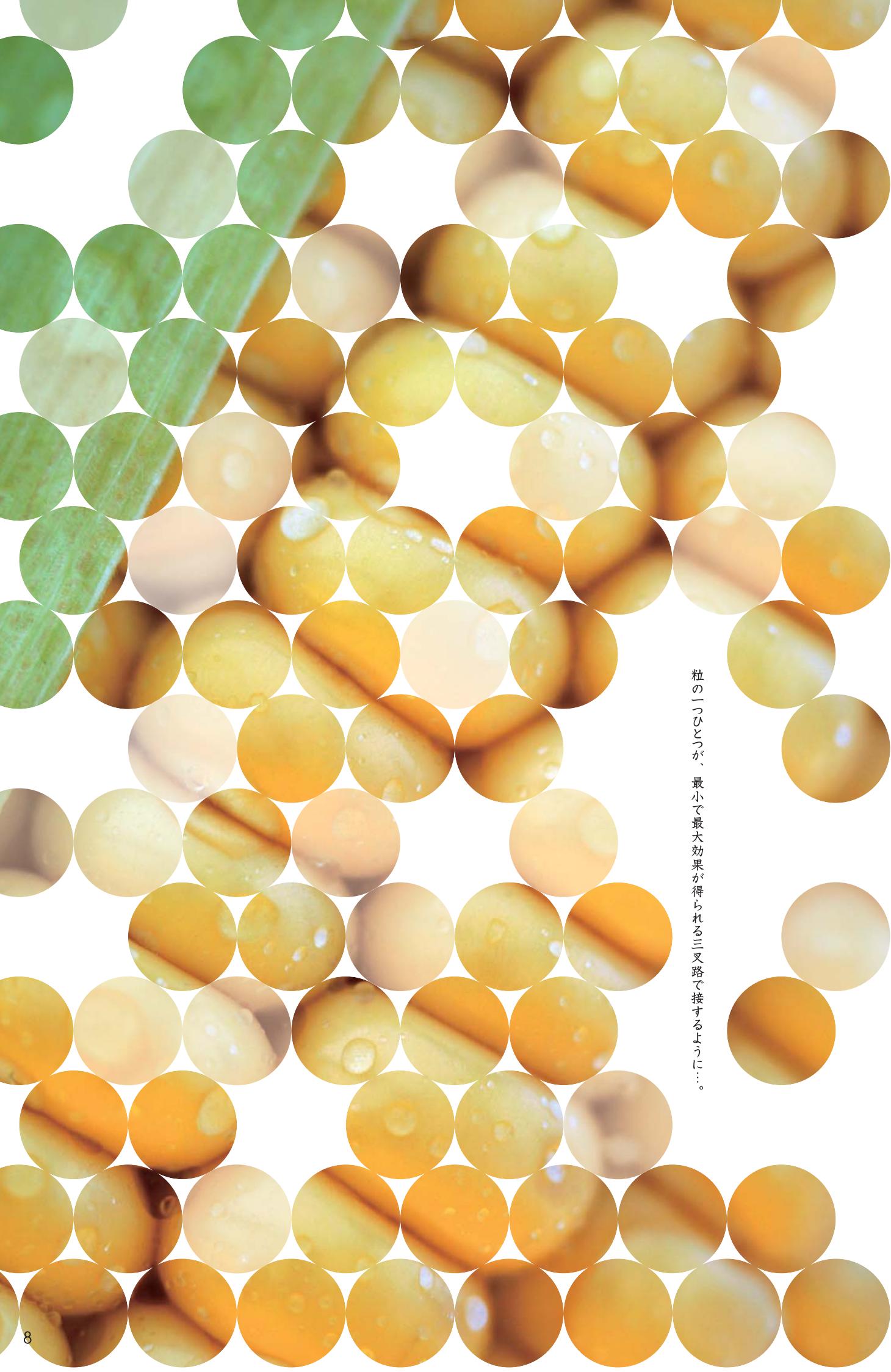
PEFCは持続可能な森林管理の促進を目的に、1999年6月にルクセンブルクを本部に設立された非営利、独立のNGO組織です。

この組織は、各国で個別に策定された森林認証制度の審査をおこない、制度間の相互承認を推進するための国際統括組織です。

2011年10月に更新審査を受け、認証継続となりました。



※CoC認証 (Chain of Custody 生産・流通・加工までの管理連鎖認証) とは「適正な森林管理」を認証した森林からの林産物の製品を普及させるため、生産、流通、加工のすべての過程において、認証材にそれ以外の材が混入しないように管理・製造されていることを認証するものです。認証された製品が市場に増え、購入が進むことによって、森林が守られ、森林の破壊や劣化を招くことなく木材消費が進むというシステムです。



環境保全活動

01

エコロジーペーパーの開発

紙は主に木材繊維からつくられています。樹木は、大気中の二酸化炭素を吸収し、それを貯えることにより成長します。植林をおこない森林を増やすことは、二酸化炭素の貯蔵量を増やし、地球温暖化防止に役立ちます。森林は一度伐採しても、植林して適切に管理すれば、再度、森林へと育てることができます。このため、森林は「循環資源」とも「再生可能資源」といわれています。私たちはこの森林を守るため、『エコロジーペーパー』の開発・普及に努めています。

●再生紙

古紙は浅草紙（江戸時代のトイレットペーパー）などの原料として、古くから私たちの生活の中で利用されてきました。現在、古紙は製紙原料の約60%を占めていますが、その6割はボール紙など「板紙」として利用されています。しかし、今や「板紙」への利用率は限界に近づき、近年はコピー用紙・新聞用紙や印刷用紙など「洋紙」への再生利用が進められています。

私たちは、紙の用途や環境への負荷を考慮したうえで、古紙を有効活用した商品の開発に努めています。



【エコマーク】

私たちの身の回りにある様々な商品の中で、環境負荷が少ないなど環境保全に役立つと認められている商品につけられるマークです。消費者のみなさんがこのマークを見て、暮らしと環境の関わりを考えたり、環境にやさしい商品選択に役立てていただくことを目的としています。

●非木材紙

非木材紙とは、針葉樹および広葉樹以外の植物繊維を原料にした紙のことです。楮・三桠・雁皮の韌皮繊維を利用した和紙も非木材紙です。

私たちは、栽培植物のケナフ、さとうきびの残渣であるバガスなど、それぞれの原料が持つ独特な肌合いを活かした非木材紙を開発してきました。それらは葉書や便箋、卓上カレンダー、パンフレットの表紙、包装紙など幅広い用途に採用されています。



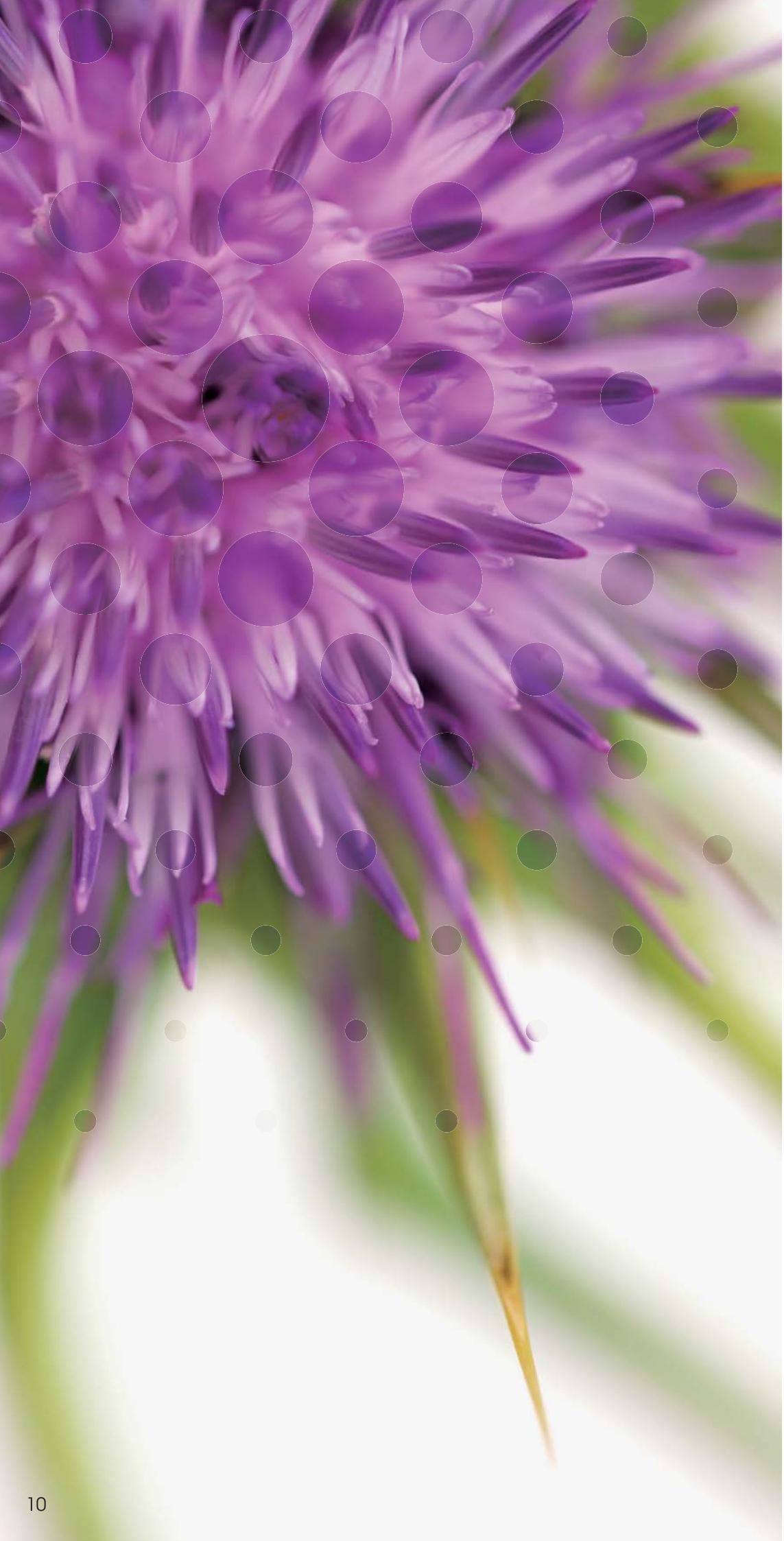
【非木材グリーンマーク】

安定供給、品質面で充分に満足できると判断された非木材パルプを使用した紙や紙製品、加工品につけられるマークです。地球環境保全に役立てるために、木材の補完資源としての非木材を利用した製品開発、啓発活動と利用普及を図ることを目的としています。

●シリアルペーパー

シリアルペーパーとは、食品加工時などに排出される未利用の表皮や繊維を活用し、それをパルプ原料に混ぜて紙へと抄きあげたものです。産業廃棄物の有効利用という意味ではもちろんのこと、それを排出元の企業が自社の制作物として使用することにより、環境課題に対する自らの姿勢もアピールすることができます。

これまでに和菓子の小豆カスを利用した包装紙や、ビール製造時に発生するモルトフィード（ビールのカス）を利用した段ボール、ウール製品やスツーファイバーを利用したステーショナリーペーパーなど、特徴ある数々の素材開発に取り組んでいます。



虫たちが運ぶ花粉に出会えるよう、花弁が放射状に配されるよう…。

環境保全活動 02

●森林認証紙

森林認証紙とは、適切に管理されていると認証された森林資源を活用した紙のことです。「森林認証制度」とは、各国・各地域の事情を尊重しながらも、より普遍的な価値観に基づき、「持続可能な森林経営」が正しくおこなわれていることを、主に第三者機関が評価し、認証する制度です。

森林認証紙は、永続的な森林の保護育成に寄与する新しいタイプのエコロジーペーパーです。環境保全のために、改めて森林に目を向け、限りある森林資源を守る取り組みに、今後も注力していきます。



【FSC®ロゴマーク】

認証された森林より産出された木材・チップから作られた用紙であることを示すマークです。



【PEFCロゴマーク】

認証された森林より産出された木材・チップから作られた用紙であることを示すマークです。

●間伐材紙

間伐材紙とは、植林された森林を健全に育成するために伐採した「間伐材」を活用した紙のことです。木々で込み合った森林の土壤には日光が充分に届かず、木々や下草の成長を阻害します。適切に間伐をおこない管理された森林は、太い幹としっかりとした枝葉によって二酸化炭素を大量に吸収し、地球温暖化防止にも役立ちます。間伐材紙は、新しい環境循環型社会に寄与するエコロジーペーパーです。



【間伐材マーク】
間伐や間伐材利用の重要性をPRし、間伐材を用いた製品であることを表示するマークで、間伐推進の啓発・普及および間伐材の利用促進と消費者の製品選択に役立てていただくことを目的としています。

●グリーン電力用紙

グリーン電力とは、太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスなどの自然エネルギーを使用して、二酸化炭素の排出抑制という付加価値をもたせた電力のことで、現在、国が進めている地球温暖化防止対策の1つとして注目されています。

グリーン電力活用の手法は、製紙メーカーから抄造時電力の申告を受け、その容量に相当するグリーン電力（風力発電）を平和紙業が購入し、環境価値を有する紙として販売をしています。カーボンオフセット^{*}の仕組みを活用し、二酸化炭素排出削減に貢献することにより、地球温暖化防止に努めています。



【エナジーグリーンマーク】

グリーン電力の持つさまざまな環境価値を第三者機関が評価して証書化された「グリーン電力証書」を取得している商品に表示可能なマークです。

*カーボンオフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができない二酸化炭素などの温室効果ガスの排出について、ままでできるだけ排出量が減るよう削減努力をおこない、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資することなどにより、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。(環境省ホームページより)

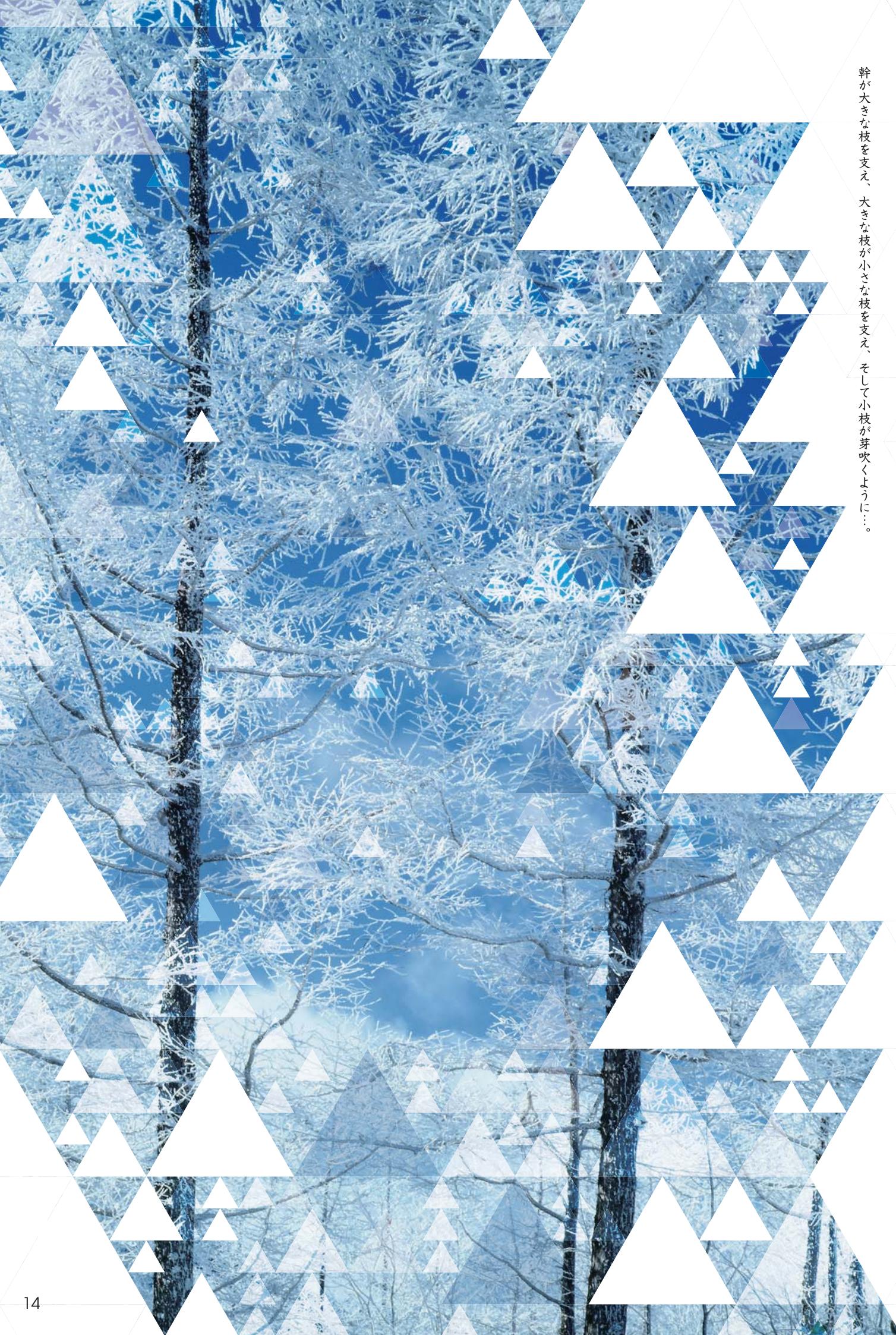


環境保全活動 03

エコロジーペーパー啓発活動の歩み

- 2011年 4月 得意先エコ商品勉強会(東京1回)
仕入先エコ商品勉強会(福岡1回)
- 5月 仕入先エコ商品勉強会(大阪1回)
OACクリボラ展(ペーパーボイス大阪／大阪)
- 6月 得意先エコ商品勉強会(大阪2回・名古屋1回)
仕入先エコ商品勉強会(東京2回・大阪1回・名古屋1回・福岡1回)
エコロジーペーパーセミナー(大阪1回)
Think PAPER展 BEFORE_AFTER(ペーパーボイス東京／東京)
レコードジャケット展(ペーパーボイス大阪／大阪)
- 7月 得意先エコ商品勉強会(大阪4回・福岡1回)
仕入先エコ商品勉強会(名古屋1回)
エコロジーペーパーセミナー(大阪2回)
- 8月 得意先エコ商品勉強会(東京2回・大阪1回・名古屋1回・福岡1回)
仕入先エコ商品勉強会(東京1回・大阪1回)
エコロジーペーパーセミナー(大阪2回)
紙という素材のすばらしさを提案する展示会(とりぎん文化会館／大阪)
九州燐紙会研修会(博多スタークーン／福岡)
- 9月 得意先エコ商品勉強会(大阪1回・福岡2回)
エコロジーペーパーセミナー(東京1回)
得意先製紙工場見学会(東京製紙／東京)
Think PAPER展 BEFORE_AFTER(富山市民プラザ／名古屋)
- 10月 得意先エコ商品勉強会(東京4回・大阪3回・仙台2回)
仕入先エコ商品勉強会(東京1回)
エコロジーペーパーセミナー(東京2回・大阪2回)
得意先製紙工場見学会(東京製紙／東京)
- 11月 得意先エコ商品勉強会(東京1回・名古屋1回・福岡2回)
エコロジーペーパーセミナー(大阪1回)
東北燐紙会製紙工場見学会(石川製紙／仙台)
- 12月 得意先エコ商品勉強会(仙台1回)
仕入先エコ商品勉強会(東京2回)
- 2012年 1月 得意先エコ商品勉強会(大阪1回・名古屋2回・福岡1回)
仕入先エコ商品勉強会(大阪1回)
エコロジーペーパーセミナー(東京2回・大阪1回・仙台2回)
環境対応紙展(ペーパーボイスヴェラム／名古屋)
- 2月 得意先エコ商品勉強会(東京1回・名古屋2回・福岡2回)
仕入先エコ商品勉強会(東京2回・大阪1回・名古屋1回・仙台1回)
エコロジーペーパーセミナー(東京2回・大阪1回)
PAPER FIELD -A to J-展(愛媛CATV大手町オープンスタジオ／大阪)
九州燐紙会製紙工場見学会(特種東海製紙／福岡)
- 3月 エコロジーペーパーセミナー(東京1回)

※()内の東京・大阪・名古屋・福岡・仙台は各サイト名を示しています。



幹が大きな枝を支え、大きな枝が小さな枝を支え、そして小枝が芽吹くように…。

トピックス 01

コストメリットとテクスチャーを兼ね備えた
PEFC森林認証紙を発売

「グラディアCoC」

コストパフォーマンスとクオリティを兼ね備えた印刷用紙
「グラディアCoC」を発売いたしました。

魅力、優美、気品、愛らしさ、人気といった意味のラテン語
“GRATIA”に由来する名を持つこの紙は、紙らしい肌合
いでしっかりとインクを受け止め、軽やかでありながら存在
感のある紙です。

使いやすく、誰にでも愛される印刷用紙として、カタログ、
パンフレットやカレンダー、ポスターなど、幅広い用途にご
使用いただけます。





山々の稜線が、大枝の枝分かれを思わせるパターンを描くように…。

トピックス 02

環境省基準による
カーボン・オフセット認証紙を発売

「ヴァークレイCoC」

オフセット・クレジット(J-VER)制度^{※1}を利用した、カーボン・オフセット認証紙を発売いたしました。

「ヴァークレイCoC」の販売重量に相当する二酸化炭素を、間伐促進型プロジェクトによって認証・発行されたクレジット^{※2}によりオフセットするもので、地球温暖化の原因となる温室効果ガス削減活動に貢献できるエコロジーパー

パーです。
CSRレポート、環境報告書、カレンダー等に、「ヴァークレイCoC」をご利用いただいた場合、平和紙業のカーボン・オフセットマークをご利用いただけます。また、同時にカーボン・オフセットをしていることを表記することができ、環境活動への積極的な取り組みをPRすることができます。

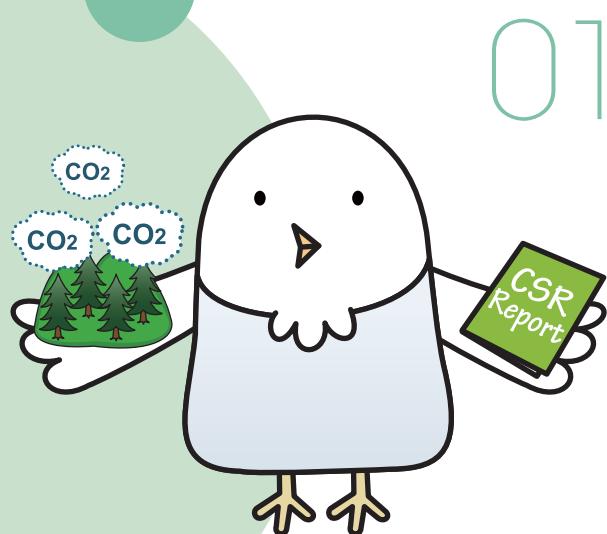


※1「オフセット・クレジット(J-VER)制度」
国内で実施されるプロジェクトにより生じた温室効果ガスの削減・吸収量をカーボン・オフセット用のクレジットとして認証する制度。環境省が2008年に創設。
※2王子製紙社有林での森林吸収源プロジェクトによるクレジット。



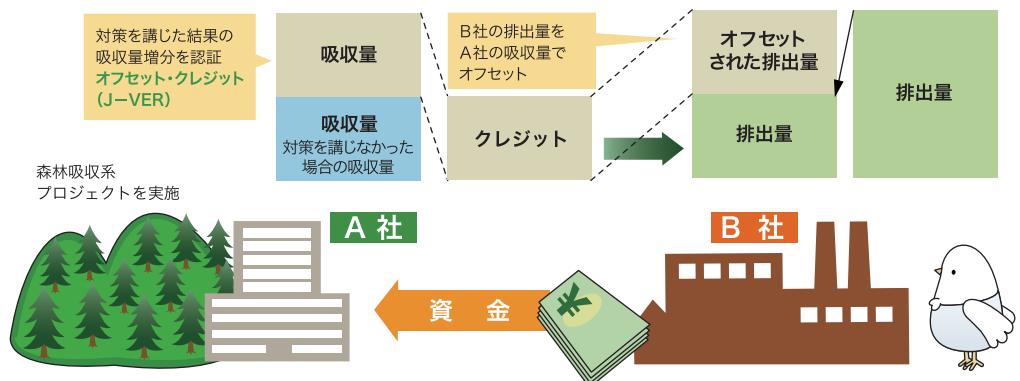
ヴァークレイCoC

環境省基準による
カーボン・オフセット認証紙とは



環境省オフセット・クレジット（J-VER）制度とは？

●日本版温室効果ガス削減認証制度
二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減・吸収活動を一層促進するため、国内で実施されるプロジェクトによって生じた温室効果ガスの削減・吸収量をカーボン・オフセット用のクレジット（J-VER／ジェイ・バー）として認証する制度です。環境省が平成20年11月に創設しました。

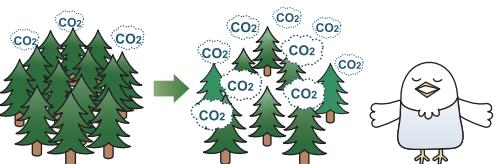


●温室効果ガスの削減方法



①排出削減系プロジェクトによるもの

装置や設備を省エネルギー仕様にしたり、化石燃料から木質バイオマス・ペレット等へ燃料代替することによって、それまで排出されていたCO₂排出量を削減。

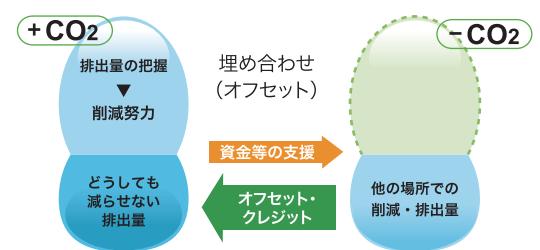


②森林吸収系プロジェクトによるもの

間伐作業や植林活動による持続可能な森林経営によって樹木の健全な育成環境を整備し、木々がそれ以前に吸収していたCO₂吸収量をさらに増幅。

●カーボン・オフセットとは？

カーボン・オフセットとは、企業活動や商品製造等によって排出してしまう温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせ（オフセット）すること。

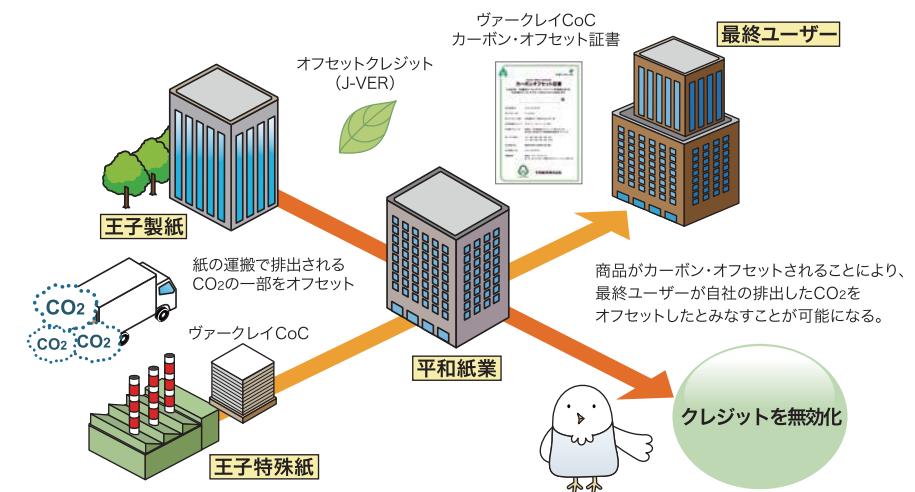


●カーボン・オフセットの仕組み（森林吸収系）

森林吸収系プロジェクトによるオフセット・クレジット（J-VER）を使って、自主的なカーボン・オフセットの他、省エネルギー法や地球温暖化対策推進法に基づく排出量算定・報告・公表制度の報告の際に、それを削減分としてカウントすることができます。

●環境省基準によるカーボン・オフセット認証紙の仕組み
商品がカーボン・オフセットされることにより、最終ユーザー

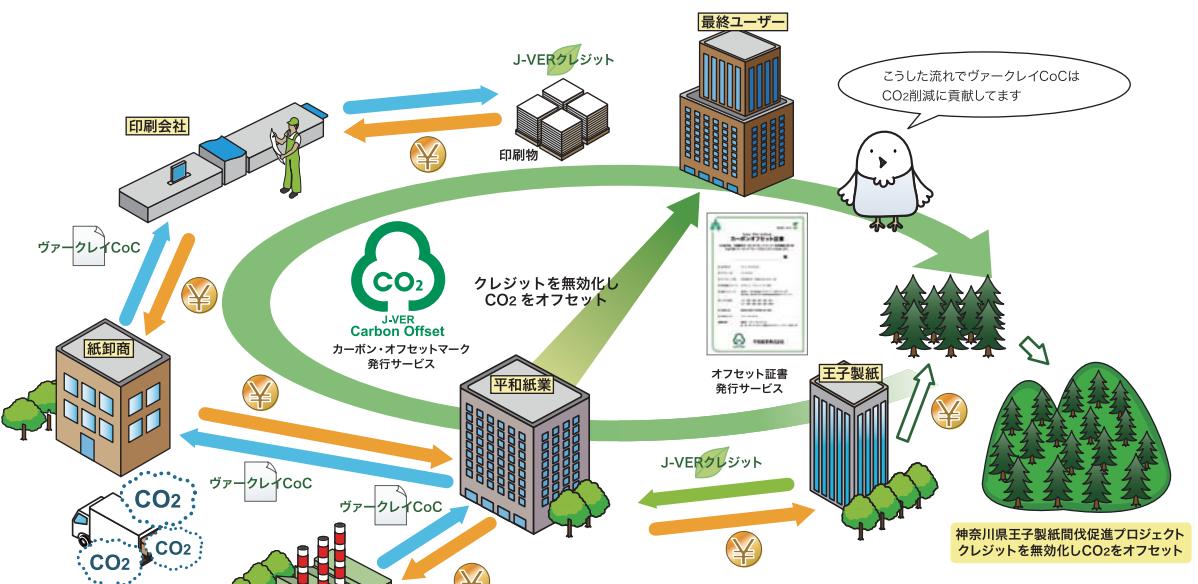
が自社の排出したCO₂をオフセットしたとみなすことが可能になる。



環境省基準によるカーボン・オフセット認証紙「ヴァークレイCoC」とはこんな仕組みの商品

地球温暖化対策は現在避けて通れない喫緊の課題であり、私たちの社会が早急に取り組まなくてはならないものです。「紙」を使用することがカーボン・オフセットにつながるこの商品を広く社会に提供することで、お客様の地球温暖化防止に向けた取り組みへの一助になりたいと、私たちは願っています。

モノの流れとクレジットの流れ、それとお金の流れがうまく調和して、商品（紙）の使用が国内森林の保全と地球温暖化防止に貢献できる持続可能（サステナブル）な環を、お客様と一緒にひとつでも多く創り出していくこと、それがヴァークレイCoCの抱く大きな夢です。



●環境省基準によるカーボン・オフセット認証の基本スキーム

紙を運搬する際に排出される温室効果ガス(CO₂)排出量（申請者のストック倉庫から、全国の販売拠点倉庫へ運搬する際に排出される温室効果ガス(CO₂)の排出量の一部）のうち、販売された用紙と同じ重量の排出量を、平和紙業（株）がそれと同量のオフセット・クレジット（J-VER）を調達・無効化することで、印刷・加工された後の印刷物や紙製品の最終需要家が、地球温暖化防止へ貢献できるよう支援する取り組みです。

ヴァークレイCoC-3つの約束

- 販売（使用）重量と同等のCO₂を、王子製紙のオフセット・クレジット（J-VER）でオフセットします。
- オフセットは、毎月販売重量を確認し、翌月初めにJ-VERを購入し無効化することによって実行します。
- オフセットする主体は平和紙業でもメーカーでもなく、あくまで最終ユーザー様といたします。

ヴァークレイCoC

環境省基準による
カーボン・オフセット認証紙とは

J-VER

02



カーボン・オフセットの認証とマークについて

●カーボン・オフセット証書

J-VERによって獲得したオフセット・クレジットを活用するヴァークレイCoCでは、使用した用紙重量分と同じ重量のCO₂が削減できたと見なされます。クレジットが無効化されたことは、平和紙業株式会社からの証書発行にて証明いたします。使用したユーザー様は、この証書で上記削減分のCO₂重量を確実に証明することが可能となります。

証書発行における留意点

- ①出荷明細の一一致を確認後、最短で翌月初旬の発行となります。
- ②製品見本を提出いただきます。



●カーボン・オフセットマークの説明

平和紙業㈱がおこなっているカーボン・オフセットの仕組み・運営については、「気候変動対策認証センター」による第三者認証をいただき、カーボン・オフセット認証マーク①を取得しています。ただし、このマークは平和紙業株式会社への認証マークであり、用紙使用者が使用できるものではないため、平和紙業株式会社では、独自のカーボン・オフセットマーク②を提供することとしました。森林吸収系であるJ-VERのCO₂削減行動に賛同しデザインしたこのマークは、ヴァークレイCoCの利用者に広くご利用いただける、付加価値の高いマークです。



①カーボン・オフセット認証マーク
②カーボン・オフセットマーク

●スペック表記における文例

最終製品には、以下の文言を付記しコンセプトをPRすることができます。

「この〇〇〇〇は、使用した用紙と同じ重量のCO₂を、国内のオフセット・クレジット(J-VER)によって、オフセットしています。」

付記する文言には、さらに具体的な内容を示すこともできます。

「この冊子は、使用した用紙と同じ重量のCO₂を、国内のオフセット・クレジット(J-VER)によって、オフセットしています。この冊子の重量は、1冊あたり〇〇gです。△△部制作しましたので、〇〇g×△△部=□□kgのCO₂をオフセットしています。」

各制度に活用できる排出削減量(クレジット)早見表

2012年4月現在

対象制度及び所管団体	温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度との適合性			
	J-VER	京都クレジット	国内クレジット	グリーン電力証書
エネルギー使用の合理化に関する法律 (改正省エネ法) 経済産業省 http://www.eccj.or.jp/	○	○	○	×
地球温暖化対策の推進に関する法律 (温対法) 環境省 http://www.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/	○	○	○	○
グリーン購入法 環境省総合環境政策局 http://www.env.go.jp/policy/hozon/green/	×	○	○	×
環境自主行動計画 (社)日本経済団体連合会 http://www.keidanren.or.jp/	×	○	○	×
自主参加型国内取引量制度 (JVETS) 環境省地球環境局 http://www.jvets.jp/	×	○	×	×
東京都環境確保条例 東京都環境局 http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/	×	×	×	○
大阪府温暖化の防止等に関する条例 大阪府環境農林水産部 http://www.pref.osaka.jp/	●	×	●	●
カーボン・フットプリント制度 (社)産業環境管理協会 http://www.cfp-japan.jp/	各種クレジットの活用を制度規格化していないが、併記によるPRが可能。			
グリーンプリント認定制度 日本印刷産業連合会 http://www.jfpi.or.jp/	各種クレジットの活用を制度規格化していないが、併記によるPRが可能。			

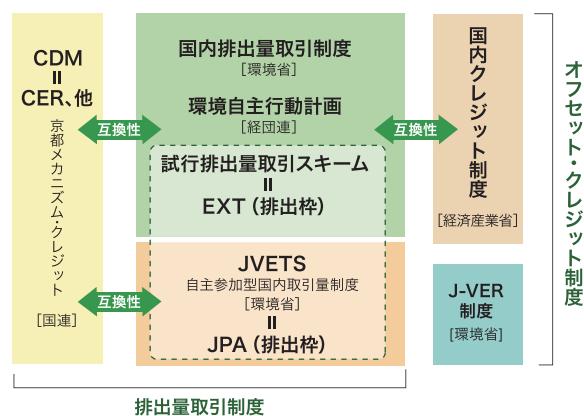
○ 使える ○ 条件付きで使える × 使えない

各クレジットの特徴	種類	J-VER	京都クレジット	国内クレジット	グリーン電力証書
		特徴	特徴	特徴	特徴
特徴	カーボン・オフセットに用いられることを主眼に、国内における温室効果ガス削減量をクレジットとして認証・発行したもの。排出削減系プロジェクトだけでなく、国内森林の整備による森林吸収系プロジェクトによる削減量が扱える。	国際間の排出権取引市場で、現在、世界的に流通している排出量削減クレジット。AAU、ERU、CER、RMUの4種類がある。	日本国内の中小企業が行った温室効果ガス排出削減量を、大企業等へ販売可能な排出量削減クレジットとして国が認証したもの。	使用電力を再生可能エネルギー(太陽光発電や風力発電)として転用することが、第三者認証を通じた証書の発行により可能になること。	
認証機関等	気候変動対策認証センター	新エネルギー・産業技術総合開発機構	国内クレジット認証委員会	グリーンエネルギー認証センター・エナジーグリーン(株)等	

「排出量取引制度」と「オフセット・クレジット制度」の違い

「排出量取引制度」は、企業に温室効果ガス排出の上限規制が導入されていることが前提。企業の排出量が排出上限を下回った場合に、その分を「排出枠」として販売することができる。(キャップ・アンド・トレード型)「オフセット・クレジット制度」は、上限規制などは定められておらず、何らかの排出削減プロジェクトを実施したことによって、追加的に排出削減が実現した場合に「クレジット」の発行が認められる。

諸富徹「排出量取引制度の現状と課題」
(2010年9月)より



エコロジーペーパーについて

①エコロジーペーパーの開発

	2011年度実績	2010年度実績
開発数	5鉛柄	7鉛柄

②販売シェアの把握

目標:エコロジーペーパー販売シェア基準値±3ポイント以内

	2011年度実績	2010年度実績
東京	基準値+0.4ポイント	基準値+2.2ポイント
大阪	基準値-0.2ポイント	基準値+0.6ポイント
名古屋	基準値+0.7ポイント	基準値+1.1ポイント
福岡	基準値+2.1ポイント	基準値+1.2ポイント
仙台	基準値+1.4ポイント	基準値+0.3ポイント
全サイト計	基準値+0.4ポイント	基準値+1.4ポイント

※基準値とは、前年度の実績を参考に算定した販売シェアの予測値です。

※東京・名古屋・福岡・仙台にて基準値よりプラスの販売シェアとなりました。
大阪にて基準値よりマイナスの販売シェアとなりました。

③在庫シェアの把握

目標:エコロジーペーパー在庫シェア基準値±5ポイント以内

	2011年度実績	2010年度実績
全サイト計	基準値+2.6ポイント	基準値-1.3ポイント

※基準値とは、前年度の実績を参考に算定した在庫シェアの予測値です。

※在庫の管理は全サイト一括管理となっています。

全サイト計で、基準値よりプラスの在庫シェアとなりました。

④普及活動の推進

目標:得意先エコ商品勉強会(年36回)

仕入先エコ商品勉強会(年20回)
エコイベントの開催(年18回)

得意先エコ商品勉強会

	2011年度実績	目標
東京	11回	10回
大阪	12回	9回
名古屋	7回	7回
福岡	9回	6回
仙台	3回	4回
全サイト計	42回	36回

※東京・大阪・名古屋・福岡で目標を達成しました。

仕入先エコ商品勉強会

	2011年度実績	目標
東京	8回	8回
大阪	5回	5回
名古屋	3回	3回
福岡	2回	2回
仙台	1回	2回
全サイト計	19回	20回

※東京・大阪・名古屋・福岡で目標を達成しました。

エコイベント

	2011年度実績	目標
東京	9回	8回
大阪	14回	4回
名古屋	2回	2回
福岡	2回	2回
仙台	3回	2回
全サイト計	30回	18回

※すべてのサイトで目標を達成しました。

エネルギー使用量について

①電気

目標:EE指標0.99以下または使用量1%削減

	2011年度実績	2010年度実績	使用量前年比
東京	0.86	1.07	-18%
大阪	0.94	1.01	-12%
名古屋	0.83	1.09	-18%
福岡	0.64	0.71	-37%
仙台	0.68	1.14	-37%
全サイト計	0.85	0.82	-18%

※すべてのサイトで目標を達成しました。

※2011年3月11日に発生した東日本大震災による、

福島第一原子力発電所の事故に起因する電力供給不足に対応するため、全サイトにて緊急節電対策を実施しました。

②営業車用ガソリン

目標:EE指標0.99以下または使用量1%削減

	2011年度実績	2010年度実績	使用量前年比
東京	0.97	1.12	-7%
大阪	1.00	1.28	-7%
名古屋	0.99	1.14	-2%
福岡	0.91	1.05	-10%
仙台	1.13	1.12	+5%
全サイト計	0.99	1.17	-5%

※EE指標は東京・名古屋・福岡および全サイト計で目標を達成しました。

※東京・大阪・名古屋・福岡で使用量を削減しました。

OA用紙使用量について

①PPC用紙

目標:EE指標0.99以下または使用量1%削減

	2011年度実績	2010年度実績	使用量前年比
東京	1.03	1.01	-1%
大阪	1.06	1.01	-1%
名古屋	1.76	1.18	+27%
福岡	0.88	0.96	-13%
仙台	1.02	0.93	-6%
全サイト計	1.08	1.04	+4%

※EE指標は福岡で目標を達成しました。

※東京・大阪・福岡・仙台で使用量を削減しました。

グリーン購入シェアについて

目標:グリーン文具購入シェア80%以上

	2011年度実績	2010年度実績
東京	94.3%	89.1%
大阪	96.0%	94.7%
名古屋	96.8%	97.2%
福岡	91.2%	80.1%
仙台	84.1%	87.1%
全サイト計	94.5%	90.8%

※すべてのサイトで目標を達成しました。

紙類リサイクルについて

	2011年度実績	2010年度実績
東京	5,440kg	6,730kg
大阪	1,720kg	1,930kg
名古屋	4,730kg	4,450kg
福岡	760kg	1,306kg
仙台	0kg	8,150kg
全サイト計	12,650kg	22,566kg

※紙類(PPC用紙・新聞紙・ダンボール他)を
リサイクルしています。

配送重量・距離の把握

2011年度実績

	配送重量	配送距離
東京	8,515,549kg	1,215,047km
大阪	5,345,666kg	188,877km
名古屋	2,572,362kg	138,457km
福岡	616,511kg	19,985km
仙台	520,362kg	7,130km
全サイト計	17,570,450kg	1,569,496km

まとめ

大気、水、大地、山、木々や草花、そして私たち人間。

地球に生きるすべてのものは、その姿を変化させながら
お互いを支え合い、多くの生命を循環させています。

「循環型社会」を目指して様々な取り組みがされている中、

私たち平和紙業は「エコロジーペーパー」を通して資源のリサイクルに取り組み、

紙を有効利用することで「環境と共生できる社会」をご提案しています。

私たち一人ひとりの行動が、いずれこの地球の姿に影響を与える。

その自覚と責任の下、脈々と引き継がれてきた自然の恵みを浪費させることなく、

輝く資源として次の世代に引き継ぐために、これからも皆さんに

有益な情報を発信し続けてまいります。



自然はつねに、最もエネルギー消費の少ない手段で最大効率を得るために方法を探し出します。植物のつる巻や、岩石のひび割れがフラクタルという幾何学で成り立ち、草花の花弁が、最も近い道のりで直進し、放射状に炸裂するように、自然界は無駄のない美しいデザインを生み出します。そんな自然のように、豊かな環境を大切にしたいと願っています。

創立 1946年3月

資本金 21億784万円 (大証2部上場)

代表者 代表取締役社長 小島勝正

社員数 199名 (男136名・女63名)

売上高 195億円

事業内容

- 特殊紙、高級紙、技術紙をはじめ、各種紙素材の開発、販売、輸出入
- 紙を素材とする新商品開発と商品化
- これらに付帯する一切の事業

本社・本支店

本 社	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号	Tel.03-3206-8501
東 京 本 店	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号	Tel.03-3206-8511
大 阪 本 店	〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目3番23号	Tel.06-6262-1212
名 古 屋 支 店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目5番3号	Tel.052-563-2211
福 岡 支 店	〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目23番34号	Tel.092-474-1812
仙 台 支 店	〒984-0015 仙台市若林区卸町3丁目1番7号	Tel.022-235-0811
海 外 事 業 部	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号	Tel.03-3206-8531
札 幌 事 業 所	〒060-0013 札幌市中央区北13条西17丁目1番41号	Tel.011-717-3221
広 島 事 業 所	〒733-0833 広島市西区商工センター6丁目5番9号	Tel.082-277-6336
富 士 デ ポ	〒416-0946 富士市五貫島字地神1088	Tel.0545-63-1175
若 洲 デ ポ	〒136-0083 東京都江東区若洲2丁目4番18号	Tel.03-3522-8280
ペーパーロード大阪	〒577-0005 東大阪市七軒家19番15号	Tel.06-6744-5572
名 古 屋 デ ポ	〒485-0056 小牧市小木南1丁目1番1号	Tel.0568-77-5335
欧州駐在員事務所	Winkelsfelder Strasse 30 40477 Düsseldorf, F.R.Germany	Tel.49-0-211-46959501

ペーパーショップ・ギャラリー

ペーパーボイス東京	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号	Tel.03-3206-8541
ペーパーボイス大阪	〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目3番23号	Tel.06-6262-0902
ペーパーボイスヴェラム	〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目5番3号	Tel.052-541-4029

関係会社

平和興産株式会社	〒577-0005 東大阪市七軒家19番15号	Tel.06-6744-5571
本社・大阪事業所	〒485-0056 小牧市小木南1丁目1番1号	Tel.0568-77-5335
名古屋事業所	〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目5番3号	Tel.052-582-5840
株式会社辻和	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号	Tel.03-3206-8513
本 社	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号	
東 京 営 業 所	平和紙業(香港)有限公司 Room102-103, Hewlett Center, 54 Hai Yuen Road, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong	Tel.852-2790-7775
	平和紙業(上海)有限公司 Room105, Sinotrans Mansion, No.188 Fujian Road(c), Shanghai 200001, P.R.China	Tel.86-21-6350-1005

この報告書についてのお問い合わせは下記へお願いします。

平和紙業株式会社 全店ISO事務局 (管理統括本部総務人事部)
〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号 TEL.03-3206-8501 FAX.03-3206-8500
E-mail soumu@heiwapaper.co.jp URL http://www.heiwapaper.co.jp

